

一般社団法人みよし観光まちづくり機構

令和元年度 事業報告書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

1 諸会議

(1)社員総会

定時総会

開催月日 令和元年6月24日(月)

開催内容 ア.平成30年度決算書類の承認について

イ.理事・監事の選任について

堂本昌二氏・永江博之氏・政森進氏・安藤周治氏・堀江斎氏を理事に選任
古永雅則氏を監事に選任

(2)理事会

①第1回理事会

開催月日 令和元年6月7日(金)

開催内容 ア.理事会付議案件

平成30年度事業報告の承認について

令和元年度定時総会の開催について

イ.総会付議案件

平成30年度(第2期)決算書類の承認について

理事の選任について

②第2回理事会

開催月日 平成30年6月24日(月)

開催内容 ア.理事長の選任について

堂本昌二氏を選任

イ.専務理事の選任について

永江博之氏を選任

③第3回理事会(書面議決)

開催内容 ア.主たる事務所の所在地の変更について

④第4回理事会

開催月日 令和元年8月28日(水)

開催内容 ア.令和元年元年度上四半期報告

イ.今後の事業展開について

⑤第5回理事会

開催月日 令和元年12月17日(火)

開催内容 ア.令和元年度上半期報告

イ.今後の事業展開について

⑥第6回理事会

開催月日 令和2年3月27日(金)

開催内容 ア.令和2年度事業計画、収支予算の策定について

イ.事業進捗状況について

(3)その他諸会議

- ①三次市観光キャンペーン実行委員会総会 令和元年5月24日(金)
- ②三次市議会総務常任委員会との意見交換会 令和元年6月21日(金)
- ③みよし田舎ツーリズム協議会総会 令和元年6月27日(木)
- ④三次もののけミュージアム開館記念事業実行委員会総会 令和元年7月5日(金)
- ⑤みよしバルーンフェスティバル2020実行委員会総会 令和元年11月21日(金)

2 事業

(1)戦略的な観光振興

①各種調査

- ア. 三次もののけミュージアムオープニングイベントでのアンケート調査 (回収数 1015)
- イ. 三次市観光定性調査 グループインタビュー形式による三次市の観光に関する意見の聴取
対象 広島市 35～49歳 主婦(6名) 50～64歳 夫婦(6組)
首都圏 35～49歳(4名) 三次市 35～49歳 男女(7名)
9月15日(日) 広島市 9月21日(土) 三次市
9月22日(日) 広島市 9月28日(土) 東京
- ウ. 三次市観光実態調査(三次市受託事業)
調査日 11月30日・12月1日 市内15か所 (回収数 1012)

②三次市観光推進ワークショップ

- 開催日 10月29日(火) 11月18日(月)
- 参加者 各観光協会+三和自治連、経済団体(商工会議所青年部・広域商工会)、女性グループ、観光施設(三次ワイナリー・奥田美術館・平田観光農園・ゆめランド布野・君田温泉森の泉・みわ375)
- 開催内容 三次市観光の現状分析(強み・弱み・機会・脅威のクロスSWOT分析)
優先的取組項目の抽出

③三次市の観光振興の方向性を共有するための場づくり

三次市をどのような観光のまちにしていくのかという事やその手法、優先順位などの戦略を共有する場をつくることを方針に掲げていましたが、三次市観光推進ワークショップにおいて、各観光協会や観光施設等関係者に集まっただき、一定の議論の場は提供しました。三次市において令和2年度に改めて観光戦略づくりを進めるということもあり、ワークショップは、その議論を戦略策定に生かしていただくという意味あいもありました。令和2年度に三次市と連携しながら、関係者の皆さんとともに戦略的な議論を深めていきます。

(2)プロモーション事業

- ①みよし観光まちづくり機構ホームページ「Walk @round Miyoshi」の公開
現在、三次市内各スポット、ショップ、人など74記事をUP。
観光庁の補助金を活用して、英語バージョンページを構築。

2019年度ページビュー数（観覧されたページの合計数） 113,775

スマホ・タブレットなどでの観覧 67.3%

②スマホ対応「まち歩きアプリ」の構築

スマホ対応まち歩きアプリ「Walk @round Miyoshi 三次わくわくさんぽ」を構築。

③SNSによる情報発信

Instagramによる情報発信（miyoshidmo） フォロワー数 291人 （2019年9月開始）

④You Tube チャンネル（Walk around Miyoshi）による情報発信 視聴回数 68回

⑤もののけロードスタンプラリー

NEXCO西日本の提案により、中国自動車道の利用を促進するため、中国自動車道安佐SAから七塚原SA間のSA、PA及び 交流館でスタンプラリーを開催

開催期日 7月26日（金）～8月31日（土）

⑥その他

夏休み期間を中心に、「ぶらり中国ドライブパス」（広島県）、「夏休みこども乗り放題バススタンプラリー」（備北交通）、「全国アニメ聖地舞台探訪マップ展示会」（KADOKAWA）などに協力

情報発信、PRについては、本年度でホームページ、SNS、スマホアプリなど電子情報媒体の構築、整備は完了しました。ホームページについては、スマホなどのモバイル端末での観覧が6割以上であり、アクセスが集中したのは、もののけミュージアムのオープニング期間中と熱気球イベントの受付などのイベント時でした。今後はイベント時のみではない、三次市の観光資源の紹介、PRに注力する必要があります。その際、令和2年度には改めて三次市の観光戦略を策定する動きと連動して、戦略に沿いつつ、三次市の公式観光ホームページとの役割分担やモバイル端末での観覧などの要素も考慮しながら、コンテンツの充実をはかります。

(3)観光資源開発事業

①熱気球体験搭乗会

開催月日 8月10日（土）～12日（月）

会 場 十日市親水公園

搭乗者数 398人（うち有料搭乗者 289人）

②みよしバルーンフェスティバル2020 （新型コロナウイルスの感染防止のため中止）

開催期日 2月29日（土）～3月1日（日）

会 場 十日市親水公園

主 催 みよしバルーンフェスティバル2020実行委員会

実行委員会構成団体 みよし観光まちづくり機構、(一社)三次市観光協会、君田町観光協会、作木町観光協会、三良坂町観光協会、甲奴町観光協会、三次商工会議所、三次広域商工会、NPO法人熱気球運営機構

本イベントは、冬期の新たな観光資源として、8者で実行委員会を組織し計画したものです。開催内容は、全国から15機の熱気球の参加による競技フライト、係留された熱気球2機

による体験搭乗会、さらには熱気球による夜間イルミネーションや熱気球教室を予定していましたが、イベントは新型コロナウイルスの感染防止のために急遽中止せざるを得ませんでした。イベントへの反応は大きなものがありました。

体験搭乗会の事前予約は、2月13日の10時からネットで受付を開始しましたが、アクセスが集中しサーバーがダウンする事態に陥り、急遽電話での受付を行い、90分程度で200名の予約枠が完売しました。また、宿泊施設との連携による宿泊パックや広島市からの日帰りツアーも企画していただき、それぞれ好評でした。中四国地方ではこのようなイベントはないこともあり、集客力のあるイベントですが、天候リスクが他の屋外イベントに比べても大きな点や費用対効果など検討すべき点があります。

②三次町エリア開発及び集客促進

ア. 「三次もののけフェスティバル」もののけパレード 4月27日（土）

三次もののけミュージアムの開館記念イベントの一環として、三次町照林坊から本通り商店街を經由しミュージアムまでのコスプレパレードを開催しました。泉谷しげるさんをゲストに迎え、市内外から多くの方の参加がありました。

イ. 三次地区デジタルスタンプラリー

もののけミュージアム開館に合わせて、三次地区内への回遊性を高めるため、地区内10ポイントを巡るデジタルスタンプラリーを開催

開催期日 4月19日～6月30日

参加者 367人

ウ. ぶらりもののけクイズラリー

主に子どもたちを想定し、夏休み期間中にミュージアム内及び地区内で10ポイントを設定し、クイズラリーを開催

開催期日 7月20日（土）～8月31日（土）

参加者数 1147人

エ. 2019三次物怪まつり

開催月日 8月24日（土）

住吉神社～本通り商店街～太歳神社～もののけミュージアム

参加者数 約70名

物怪プロジェクト三次、日本妖怪博物館と連携して開催しました。もののけミュージアムの開館、またコスプレをはじめサブカルチャーで広島を盛り上げようと活動されている「コスカレード」の協力を得て、例年より多くの仮装での参加を得ることができました。

オ. 比熊山平太郎体感登山

開催月日 8月11日（日）・25日（日）

参加者数 15名

カ. 三次地区の文化・観光まちづくりを進める会

比熊山登山道の整備作業を実施しました。また、比熊山登山道整備及び比熊山からの眺望を確保するために、広島県の森づくり事業への要望を行い、令和2年度から2年間の事業として採択されました。

キ. みよし町マルシェとの連携

開催日時 11月24日(日)

会場 本通り商店街

三次市、三次地区自治会連合会、本通り商店街と連携し、「かわまちカフェ」「えびす講」「もののけマルシェ」と同時開催で、本通り商店街各所で「みよし町マルシェ」を開催しました。

ク. サポーズデザインオフィスとの連携

三次町出身の著名な建築家谷尻誠氏の設計事務所サポーズデザインオフィスと連携して、三次町の賑わいの再生の方向性を探りました。令和2年度も引き続き連携しながら、具体化に向けた取り組みを進めます。

(4)三次地区文化・観光まちづくり交流館運営及び売店事業

①交流館運営事業

ア. みよしもののけミュージアムへの集客促進

・開館記念イベント「三次もののけフェスティバル」の開催 4月26日～5月6日

日本妖怪博物館入場者数 28,680人

・顔出しパネル、もののけオブジェ等の整備

・VR4D王の上映(交流館)

開催月日 8月15日(木)～10月27日(日) 9/23 予定を好評のため延長

入場者数 6,219人

・もののけマルシェ

開催月日

7月14日(日) ステージあり 博物館入場者数 2,269人

8月18日(日) プチマルシェ 博物館入場者数 1,410人

9月23日(月) プチマルシェ 博物館入場者数 1,753人 (下電ツアー1,000人)

11月24日(日) ステージあり 博物館入場者数 715人

(みよし町マルシェと同時開催)

12月22日(日) プチマルシェ 博物館入場者数 288人

・ミュージアム駐車場ライトアップ&「みんなで灯そうスノーキャンドル」連携イベント

ライトアップ 12月～1月

連携イベント「三次のお茶・コーヒーお試し会」1月25日(土)

・三次ネット怪談・朗読会 百物語 2月8日(土)

怪談朗読者「136(イサム)」氏を迎えての怪談朗読会 参加者約50人

・「落語会」3月15日(日)に、布野小学校・神杉小学校の子ども達による怪談落語会

を予定していたが、新型コロナウイルスの感染防止のため中止

イ. 情報発信・PR事業

・みよしもののけミュージアムホームページによる各種イベント案内

・SNSによる情報発信

Instagramによる情報発信 フォロワー数 126人(2020年2月開始)

ウ. 日本妖怪博物館入館者数 141,769人(3月4日から臨時休館)

博物館の入館者数はオープンから11月末までは、毎月1万人以上の入館者がありましたが、12月に入って減少し、12月から2月までの月平均入館者数は約4,000人となり、入館者数に比例して、売店の売り上げも減少しました。そのため、怪談朗読会や落語会、ワークショップなど集客につながるイベントを企画しましたが、3月に入り新型コロナウイルスの感染防止のためにイベントも中止せざるを得ない状況となりました。冬期の集客については、主要な観光客が広島市を中心とする沿岸部住民であり、冬には三次は雪が積もっていると思われる方も多いため、本施設に限らず減少傾向にあります。今後は、春から秋のオンシーズンにより効果的に集客できるよう注力する必要があります。

②交流館売店事業

ア. 商品売上 オープン～3月末

売上高	34,317,213円
仕入高	29,862,571円
期末棚卸高	2,470,343円
販売費及び一般管理費	3,373,560円
営業損益金額	3,551,425円

③藝大もののけ祭り百鬼夜行展への協力

東京藝大アートプラザで開催された妖怪をテーマにして学生や関係作家が作成した作品を展示販売する企画に売店のもののけ関係商品を出品

開催月日 9月6日(金)～29日(日)

今期売店事業は、オープニング時(4月、5月)に1600万円、その後も11月までは毎月200万円以上の売り上げがありましたが、12月に入り入館者数が前月の1/3に減少したのに比例して、100万円を割り、3月には新型コロナウイルスによる博物館の臨時休館の影響を受け、売り上げは回復しませんでした。全期を通しては、オープニングから11月までのオンシーズンでの貯金があり、売店事業としては黒字となりました。しかし、令和2年度については、オープン2年目を迎え、通常の場合でもオープン時に比較すると売り上げは減少する傾向に加え、新型コロナウイルス感染の終息が見通せない中、非常に厳しい状況の中での事業展開となります。令和2年度は収益を確保する努力をしつつ、売店事業そのものの在り方について方向性を見出さなければなりません。